

番号	14
事業名	福祉まると相談室の設置
予算額（主な支出）	重層的支援体制推進事業費 69,083 千円（専門職派遣委託料 54,370 千円） 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費 4,940 千円（委託料 3,845 千円）
特定財源	国庫補助金 22,965 千円、民生受託事業収入
事業の概要	<p>おおむね中学校圏域に身近な相談を「地域」で受け止める窓口を設置し、医療専門職（看護師・保健師）、福祉専門職（社会福祉士等）、地域づくり支援職員を配置し、健康と福祉の総合相談、地域の困りごとの相談、地域における支えあい活動等を推進する。さらに、高齢者の医療・健診・介護等のデータを分析し、健康課題に対応した健康づくりや介護予防の取組も一体的に展開する。</p> <p>また、市役所 1 階にひきこもり相談窓口を設置し、相談支援、居場所づくりや家族教室など、ひきこもりの当事者やその家族に対し必要な支援を行う。</p>
事業の背景など	<p>少子高齢・人口減少、地域社会の脆弱化等、社会構造の変化の中で、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現が求められており、地域住民相互の支え合いの体制づくりや関係機関の連携による包括的支援体制の整備が必要とされている。</p>
目的・効果など	<p>介護、障がい、子ども、生活困窮等の属性を問わない相談支援、多様な社会参加に向けた支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築することを目的とする。</p> <p>また、医療と介護のデータを分析し、高齢者の特性を踏まえた支援を、医療専門職や地域包括支援センターと連携して行い、効果的な健康維持及び不安軽減の取組により健康寿命の延伸につながる。</p>
事業スケジュール	<p>R4.6 頃 ひきこもり相談窓口の設置</p> <p>R4.7 頃 福祉まると相談室（健康と福祉の身近な相談窓口）を モデル 3 地区（鎌田、嬉野、飯高）に設置</p> <p>R4.7～12 医療専門職による高齢者を対象とした積極的な指導 （ハイリスク者訪問、集いの場への支援、健康状態未把握者訪問）</p>
添付資料	あり
備考	
担当課	<p>【福祉まると相談室】 健康福祉部 健康福祉総務課 電話 31-1923</p> <p>【高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業】 健康福祉部 高齢者支援課 電話 53-4368</p>